

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第5回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）「地域活性化委の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について（公開）

3 開催日時

令和5年8月22日（火） 午後6時30分から午後7時22分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一、山口典夫、
吉田一彦、渡部弘美（欠席者2人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

8 発言の内容

【難波主任】

- ・ 竹内会長、市村委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 竹内会長が欠席のため、地方自治法第202条の6第5項の規定により副会長が職務を代理する。竹内会長の指名により伊藤副会長が議長を務めることを報告

【竹内会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：平田清委員、平田伸一委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【伊藤副会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

— 次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項について —

【伊藤副会長】

次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項についてに入る。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・資料No.1により説明

【伊藤副会長】

資料No.1に記載されている中から自主的審議事項のテーマとなるものを皆さんと決めていければよいと思う。一人ずつ自主的審議事項として掲げていきたいという項目があれば、意見を求めたい。

【伊藤光夫委員】

前回のグループワークで話したのは、三郷小学校の統廃合の関係で、先を見越して跡地の利用やこの先どうなるのかということ在地域協議会で話していくことである。また、イベント開催と記載されているが、地域の皆さんの交流が少なくなっており、コロナも落ち着いてきたので、継続的に地域の皆さんと交流をして、いろいろな情報を共有し、活性化につなげていくことやイベントの計画と小学校の跡地の利用に関する議論を並行して進めてくことができればよいと私たちのグループは考えた。

【小山委員】

資料を見るとどれも大事なものであったり興味があったりするが、記載されている取組を並行して行っていくことができたなら一番よいのだろうと思った。どれが優先順位として上になるのかわからないが、せっかく出た意見なので、並行して行っていくことができればよい。

【荏戸委員】

資料には今、この時期に重要な取組が並んでいると思う。コロナ禍等で地域の皆さんが集まる機会がかなり減っているのではないか。まずは、みんなが集まることができるようにしていけばよいと考える。小学校の統廃合も、まず跡地を利用するのかしないのかがポイントになるのではないか。これから小学校が統廃合されると、今まで小学校で行っていたイベントもなくなる。それに伴って人が集まる機会も減ってしまうので、何とか地域の皆さんが集まる場を作っていくことが、まずは一番大事なのではないか。

【平田清委員】

この項目について、本来は全部行うことができれば一番よい気はするが、あと半年くらいしかない任期の中で全部を行うのは無理だと思う。私もどれを優先順位として上とすべきか判断できないので、個々の意見ではなく、みんなで議論して決めたらよいのではないか。

【平田伸一委員】

正直言ってよくわからない。この資料を見ただけで自主的審議事項を考えなさいと言われても、漠然としていて無理だと思う。この資料を見た限りでは、何をしようとしているのかが全然見えてこない。強いて言えば、意見書の提出につながるものが2、3点ほどあるので、この辺りを詰めていけばよいのではないか。

【山口委員】

残りの任期の中で自主審議事項を決めて話すのもよいが、まとめるのはなかなか難しいのではないか。私が感じているのは、三郷区の住民の中で関心事となっているのは、小学校の統廃合等の問題ではないかということである。先般、町内会長協議会が住民を対象にアンケートを行ったが、その中には跡地の利活用についての意見も出ている。このため、時期としては早いかもしれないが、地域協議会として、

市から意見を求められた場合、何らかの形で返せるような方向性を決めておかななくてはならない。統廃合について、一つのテーマとして取り上げて検討していったらよい。

【吉田委員】

私のグループでは、リーダー育成、小学校の跡地、ホームページ等の活用といった意見が出た。私も優先順位を付けるのは非常に困難だと感じている。先ほど、山口委員から小学校の問題という話があったが、町内会長協議会と横のつながりを持っていけばよいと思う。

【渡部委員】

三郷を衰退させないためにこれらの取組を行うのだと思っている。三郷小学校がどうなるかはわからないが、小学校がなくなると地域が衰退するという例はたくさんある。なくなっても衰退しないように活動を作っていかななくてはならない。そのためには、これらの取組が全部必要になってくる。私たちが、あと半年ほどで自主的審議事項を完結させなければならないのか、それとも、次期の委員にバトンを渡すのか考えるべきである。三郷を衰退させないために、地域協議会は重要な役割を持っている。小さいテーマで話し合うのではなく、もっと上の段階で、今、三郷地区で考えなくてはならない大きなテーマを決めたほうがよい。小学校が統廃合した場合の跡地の利用についても、もう少し議論をしていかななくてはならない。まず、半年で自主的審議事項を完結させなくてはならないのかを皆さんに聞きたい。

【保坂副会長】

私たちの役目として、三郷地区の地域活性化のために何をすべきか、皆さんが一生懸命に考えられて、発言いただいた。私もそのような視点で考えていきたい。ただ、テーマの数を絞るのは非常に難しいので、地域内での解決に向けた活動として、例えば一つの切り口として、イベント開催をすることを選んでよいし、リーダー育成のために何ができるかということを選んでよいと思う。切り口はどこでもよいが、三郷地区の地域活性化のためにという思いが委員の共通の認識としてあれば、私たちの残りの任期の中での役目として可能だと思っている。切り口をどこにするのか、この切り口で議論していこうということが決まればよい。

【伊藤副会長】

小学校の統廃合について話すという意見も出たが、町内会長協議会が「三郷小学校の統廃合問題を考える会」を立ち上げて、住民を対象に統廃合に関するアンケートを実施したところである。このように小学校の統廃合については「考える会」が動いており、この会で結論が出てから、最終的に私たち地域協議会へ諮問がある。「考える会」と連携して、話し合っていければよい。

保坂副会長も言うように、三郷地区を盛り上げていくためには、イベント開催やリーダー育成が鍵になると思う。全部を議論していくのは、あと半年ほどの任期の中では難しいので、小さいところでも何か一つ皆さんと協議していくことができればよい。

渡部委員が言われるように、結論を出すのも難しいと思う。どうしても自主的審議事項として話していかなければならないのか、それとも、後から自主的審議事項となるように進めていくのか。前もって議題を定めるのではなく、三郷地区がどのようにしたら地域活性化していくのかという話し合いから始めていくのも一つの手だと思うがいかがか。

自主的審議事項として決定してから進めていくのか、それとも自主的審議事項にはとらわれず、三郷地区がどうすれば活性化するのかを話し合っていく中で自主的審議事項のテーマが定まれば、それでもよいと思うがいかがか。

【渡部委員】

私は「考える会」に一般住民の枠で参加している。最終的には、市から地域協議会に諮問がある。このため、もし可能であれば地域協議会委員の皆さんにも「考える会」に入っていただきたい。「考える会」で話されている内容を知っていなければ、諮問について考えられないのではないか。もし委員が知らなければ、町内会長協議会長から都度、地域協議会に出席して説明していただかないと「終わりました。結論が出ました。どうですか」という段階になった際に情報を持たない委員には判断ができないと思う。

【伊藤副会長】

私も「考える会」に参加しているが、アンケートを集約して、議論が始まったば

かりの段階なので、まだ方向性は見えていない。アンケート結果では、反対、賛成とさまざまな意見が出ており「考える会」に参加していただければ、また違った意見も聞けると思う。できれば委員の皆さんにも参加をしていただきたい。

資料No.1に記載されているものの中から決めるのか、それとも全般的な地域活性化についての議論をしていくのかという二つの選択肢しかないと思う。

【平田伸一委員】

先ほど、意見書の提出につながるものが三つあるという話をした。任期は残り半年くらいしかないが、意見書の提出という目標を設定すれば、それに向けた議論を重ねていくことができると思う。そういう意味で、意見書の提出を目指したらどうか。地域協議会として、小学校の統廃合の関係の意見書を目指していったらどうか。我々の残りの任期の中での議論しかできないが、次期の地域協議会の中でまた考えていただければそれはそれでよい。先ほど渡部委員が言われたとおり、統廃合という名前ではあるが、根底に三郷地区がどういう地域になっていったらよいのか、どういう地域にしたいのか、何を目指していくのかという議論がなければならない。そのような議論を踏まえながら、統廃合の関係の協議を進めていったらどうか。目標を目指した上で進めたほうが有意義だし、漠然とした状態で議論するよりはよいと思う。

意見書については、今日集まっている委員の中の意見をいろいろ出し、どうしたいのか委員の中で考えを出していくのが、この地域協議会における意見書となるのだと思う。「考える会」でも意見は出るが、そちらはそちらで進めてもらい、こちらはこちらで進めてよいと思う。メンバーが違うわけだからそれでよい。統廃合に関していろいろな意見があるから、その一つを我々が出していけばよいのではないか。

【平田清委員】

小学校の統廃合という問題はいくつかあり、まず、統廃合そのものに対する賛否がある。

次に、もし統廃合するのであれば、どのようにするのかということが二つ目のステップとしてあり、どの小学校と統廃合するか、南本町なのか和田なのかという問題になるのだと思う。

もう一つが、統廃合したら跡地をどうするのか、である。これは、また考えなくてはならない。ステップごとに考えていく場面がある。最初の統廃合そのものに対する議論をこの地域協議会でやるのかどうか。これを始めてしまうと、問題が大き過ぎて、地域協議会委員だけの意見で意見書を出してよいのかという話になってくる。地域の意向が定まるなど、もう少し事態が進んだ段階のところで、もし問題点があればそれを意見書で出すかどうか考えるのがよい方法だと思う。そこを分けて考えず、統廃合という点だけを言うと意見がまとまらないので、そこを先に決めたほうがよい。

【山口委員】

平田清委員が言われたとおりだと思う。確かに、統廃合の問題を地域協議会だけで決めてよいのかどうか疑問がある。もう既に統廃合の方向性が出ているので、平田清委員が言われたことについて、あと半年でできるかどうかわからないが、意見書として出せば一番よい。あるいは、次期の委員にお願いすることにしてもよいと思う。公的な機関で市に意見書を出せるのは、この地域協議会だけだと思う。町内会長協議会で行っている議論の内容は、要望書という形で出せると思っている。各地域にそれなりの規模の小学校があるが、それがなくなったときにどうするか。いわゆる地域のランドマークがなくなったときにどうするのか話し合っていくことが必要だと思う。イベントの開催にしても、場所がなければどこでやるのかという問題が出てくる。地域活性化に向けたことについてでもよいし、小学校の跡地利用についてでもよいのではないかな。

【平田伸一委員】

統廃合については、市が決定する前に地域協議会へ必ず諮問がある。それに対し、我々が委員の中で協議して答えを出さなくてはならない。それは、我々の任期中かわからないが、近い将来にある。だから、諮問に向けての準備という意味で研究、協議していく必要はあると思う。準備をしておかないと、突然降って湧いたようになり、慌ててしまう。地域協議会の中で意見を統一しなくてよいと思うが、委員それぞれの考えを出し、議論していかななくてはならないと思う。

【保坂副会長】

小学校の問題で、町内会長協議会の主催で「考える会」が開催されている。この問題についての諮問が地域協議会に対してあるということも承知している。今は、私たちが情報をきちんと得ておくということが大事であり、この問題に関する協議を地域協議会で行うよりは、あと半年という期間の中で、来年度に向けて私たちが地域活性化のためにどんなことを考え、どんな準備を来年度に向けて行うかなど、今、可能な具体的な話ができれば、次の活動につながってくる。今、地域で頑張っているそれぞれの年代の方たちがいるので、10代の中学生、高校生も含め、それぞれの年代の中でのリーダー養成も見据えたイベント開催という切り口の中で話し合っていくほうがよい。

【伊藤副会長】

小学校の問題や保坂副会長が言われるイベント開催、リーダー育成など、いろいろな意見が出た。その他にこのようなものがよいという意見があれば伺いたいが、いかがか。

先ほど平田清委員が言われたように、三郷小学校の統廃合について議論するという意見もあった。また、統廃合の賛否について議論するのか、その先の段階の小学校の跡地利用について議論するのかという意見もいただいた。

【渡部委員】

統廃合の問題に関して、先ほど平田伸一委員から「いろいろな意見があり、あちらはあちらで、こちらはこちらでよい」という点について、疑問を感じる。三郷地区として一つの方向性がなく、いろいろな意見を市に言ったら、何だこれとは思われてしまう。だから、今は「考える会」で行っている話の情報を得ていく中で、諮問に答えていくほうがよいのではないか。ここで「考える会」とは別の協議をしても、委員12人だけの意見では危ないのではないか。「考える会」のメンバーは35人くらいいる。しかも、そのうち半分くらいの方が一般住民の枠から入っている。私は、保坂副会長が言われる方向で議論することに賛成である。

【伊藤副会長】

今回は、竹内会長が欠席のため、この場では判断できない。皆さんからの意見を整理し、正副会長と事務局で協議したうえで次回の会議で皆さんに示したいと思う

が、いかがか。

【山口委員】

それでよい。

【伊藤副会長】

今回の協議は、持ち越しとなり、次回も同じような協議になるかもしれないが、そこで一つの方向性が出せればよいと思う。正副会長と事務局で意見をまとめて、次回示したい。

以上で、次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項について を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【伊藤副会長】

次第4 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・第6回地域協議会： 9月26日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・第7回地域協議会： 10月31日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・その他の配布物：直江津区、大島区、清里区地域協議会の「地域活性化の方向性」
大型獣被害対策学習会の参加について（ご案内）
「上越まるごと文化祭」パンフレット

【伊藤副会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

【竹内会長】

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。